

参考資料 1
H23. 12. 20

東日本大震災における初動期 業務の対応と課題 (仙塩浄化センターの事例)

平成23年12月20日
宮城県土木部下水道課

仙塩流域下水道の処理区域



仙塩浄化センターと貞山運河



津波襲来(3月11日 15時55分)

浸水高さ GL+1.3~2.7



管理本館から貞山運河方向

1 職員等への津波からの避難指示

- ・現場内職員、作業員への大津波警報発表の周知手段と避難状況

2 処理場周辺の立ち入り制限

- ・石油基地火災により避難指示
- ・解除(3月15日)まで処理場外に足止め



3 移動手段(職場へ・現場へ)の喪失

- ・公用車、作業車、職員の通勤乗用車が流失
- ・鉄道、バス等の公共交通機関が不通
- ・ガソリンスタンド閉鎖及びガソリン不足

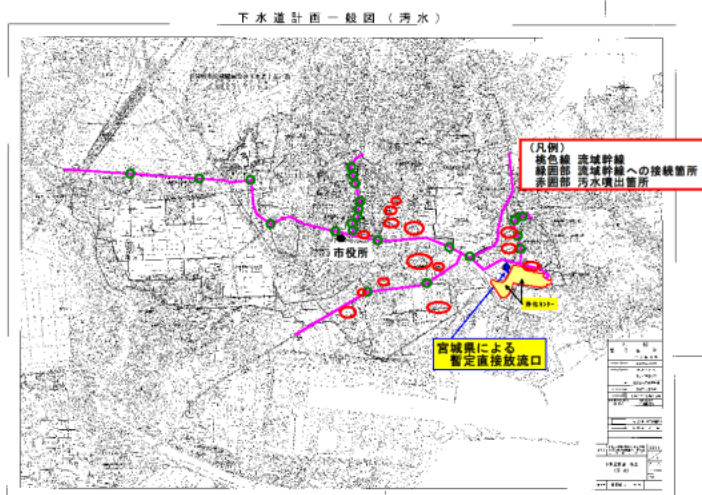


4 処理場での揚水能力喪失

- ①地震動により処理場流入渠ゲートが緊急遮断
- ②主ポンプモーターの冠水等により揚水機能喪失
- ③管渠内汚水滞留の進行により市街地低地部のマンホールから下水溢水



5 未処理下水溢水による公衆衛生問題の発生



多賀城市街地における溢水現象発生箇所(3/25)

6 揚水能力回復の緊急工事対応

・水道、ガス復旧との時間勝負



7 処理場外仮沈殿池設置の対応

- ①幹線管渠の近傍で設置可能場所を選定
- ②放流先水利権者や首長・関係機関の同意を得る
(水道取水源より上流は回避)
- ③周辺住民へ説明・周知



緩衝緑地仮沈殿池(3/21~4/19)



要害川仮沈殿池(未使用)

8 リスクコミュニケーション

- ・正確な情報を速やかに提供し、官民協働で公衆衛生上や水環境上におけるリスクの回避・低減を図った



報道陣への現場公開(3/23、4/1)



テレビCM(5/16~6/5)

東日本大震災から得た下水道BCP 検討上の課題

- ①重油、軽油、ガソリン等燃料補給・確保
- ②可搬ポンプ、発電機、ホース等仮設機器の確保
- ③緊急時対応機関の掌握と事前協議
- ④広報責任者への情報集約と統一的発信
- ⑤施設機能の理解と災害訓練